

すずらん



特別養護老人ホーム 渡里すずらん苑
ショートステイ・デイサービス
ケアプランセンター



かけがえのない人生に乾杯!
すずらん苑 敬老会
五十歳でも老人 八十歳でも青年」森村誠二 九月といえれば敬老月間。超高齢社会を迎え、毎年ながら、この時期いつも話題になるのが何歳から高齢者と呼ぶのかという事である。世界保健機関では六十五歳より、道路交通法では七十歳より、後期高齢者医療制度では七十五歳より

田てる様、岩崎信子様、白寿祝」阿久津榮子様、西野久次様、山の方が、坏勇様、土田己代子様、米寿祝」

は大変感銘を覚えます。さて、渡里すずらん苑では、「敬老会」を開催、ご利用者の皆様の長寿と健康をお祝いいたしました。先ず第一部式典では、長寿者の表彰をいたしました。今年の賀寿祝は、「喜寿祝」



館県議会議員



袴塚市議会議員



高橋水戸市長



などその定義もまちまちです。そんな中、エベレストを八十歳で登頂した三浦氏や百歳を超えても現役の医師を続けた日野原氏など、道を究める方々の目的意識の高さと前を向いて生きていく強靱な精神力に

次は第二部のアトラクションでは、水戸女子高等学校雅楽部の皆様に演奏と舞を披露していただきました。演目「豊栄の舞」は神様への感謝、「浦安の舞」は平和への願いが表現された舞で、観覧した皆様は日本古来の雅な音楽と厳かな舞い姿に大変感激されておりました。
九月十七日



の方が小泉きみ子様でした。そして最高齢の百一歳の田森あさの様が「特別長寿祝」の表彰となりました。続いて来賓としてご臨席いただきました水戸市長の高橋様と、県議会議員の館様、市議会議員の袴塚様より、入所者の皆様方にあたたかい祝福の言葉をいただきました。



ご家族様・施設職員懇談会

敬老会の後は、ご家族様と施設職員による「懇談会」を開催いたしました。近年は病院でなく施設での看取り介護を希望されるケースも増えて来ましたので、今年テーマは「終末期における施設ケア」と題して意見交換を行いました。職員より経管栄養の種類や具体的看取り介護の実際を説明



させていただけたりして、最後まで安心して過ごしていただける様ご家族様と意見交換をいたしました。 十七日

ご利用者アンケートの結果報告のお知らせ



渡里すずらん苑
ご利用に関するアンケート」にご協力いただきました。大変ありがとうございました。ご意見やご希望をまとめまして事務所に掲示いたしましたので、ご来苑の折にはぜひご覧ください。

十月の予定

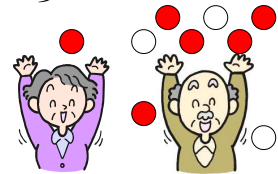
- ◎ すずらん苑運動会
- ◎ お月見飾り
- ◎ 音楽療法
- ◎ 理学療法
- ◎ 唱歌クラブ
- ◎ 手作りおやつ
- ◎ 秋のドライブ
- ◎ AED講習会



秋の日に

光りがやく
薄の穂
これの高屋に
のぼりてみれば

良寛



大洗海岸 秋の外食ドライブ

すずらん苑デイサービスでは、めんたいパーク工場見学をかねて秋のドライブに行つて来ました。海岸線をド



ライブしたり回転寿司で外食した後は、ショッピングセンターでお買物を。 二十七日

秋の名曲あれこれ…音楽療法



秋の歌は「赤とんぼ」や「故郷の空」など郷愁を誘う名曲が多く、高齢者の方々に人気の歌がいっぱいです。 九月二十一日

秋の気配を感じて…書道教室

暑さ寒さも彼岸まで。そんな言葉が納得の今日この頃。「虫の聲」秋の夜」など秋を感じる言葉を書きました。 九月二十五日



女ひとり

作詞 永 六輔
作曲 いずみたく

京都大原三千院
恋に疲れた女が一人
結城に潮風のすがきの帯が
池の水面に揺れていた
京都大原三千院
恋に疲れた女が一人
京都梅尾高山寺
恋に疲れた女が一人
大島紬につづれの帯が
影を落とした石畳
京都梅尾高山寺
恋に疲れた女が一人



- *ご寄付*
- 廣木 早苗様 安蔵 功 様
 - 寺門いつ子様 三浦 利子様
 - 野中 京子様 安蔵すて様
 - 助川 孝一様 齋藤 研一様
 - 鈴木百合子様 石沢ひろ子様
- *ご寄贈*
- 安藤 豊子 様

ありがとうございました